

三月二日（月）

「最速の証明 日本新」

昨日の東京マラソン2020は、「記録への執着・強い精神力」を見ました。ペースはかなり速く22^{キロ}過ぎ、大迫選手が集団から遅れ、このときは誰も「もうダメか。ついていけないのか」と思いました。大迫選手も「もうダメかな」と思ったが、自分を信じて走ったと。「一人で走る、一人で耐えることを学んできた」積み重ねてきた自信が勝負所で力となったのだと思います。